

キッズ・ラボ（仮称）の設置について（案）

1 キッズ・ラボ（仮称）設置の目的

心豊かな人生を過ごす上で、文化芸術は不可欠なものであり、とりわけ次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造性を育てていくためには、文化芸術が果たす役割は極めて大きい。このため、これまでの活動の蓄積を踏まえて、子どもたちがより広い意味での美術を身近なものとして捉え、美術に触れる機会を確保し、そして美術を楽しむきっかけづくりの場を提供する。

2 キッズ・ラボ（仮称）設置の基本的スタンス

美術館としての特性を生かし、あくまでも子どもたち自身が、作品を「見たくなる」、「創りたくなる」、そして「知りたくなる」といった主体性や探求心などを醸成する場所とする。

3 キッズ・ラボ（仮称）のコンセプト

- (1) 子どもと美術の出会いの場
- (2) 子どもと大人をつなぐ場
- (3) 子どもと美術の関わりを考察し、研究する場
- (4) 将来における美術館のリピーター育成の場
- (5) 見て、触れて、体験できる「学び」と「遊び」の場

4 キッズ・ラボ（仮称）のターゲット

子どもだけを対象とするものではなく、あらゆる年齢層に開かれた場所であることを前提とする。

5 キッズ・ラボ（仮称）の機能

(1) 展示空間としての機能

- イ 作品とふれあう楽しさに気づかせ、展示室へ誘う出発点
- ロ 表現や技法等をわかりやすく体験する場
- ハ 鑑賞と創作を結び付ける場
- ニ 公開制作やワークショップの成果作品を展示する場

※キッズ・ラボ（仮称）は、所蔵作品の展示を可能とする諸機能を有することを前提とする。

(2) 創作空間としての機能

- イ 子ども向けプログラムの場（親子・学校）
- ロ 子ども向けの自由な創作の場
- ハ 教育関係者のための様々な活動の場

※主に、平日は学校など教育機関と連携した団体利用、休日は親子や個人を対象にした個人利用を想定している。

(3) その他の機能

- イ 学校等が利用する際の拠点（解説、荷物置き場、昼食のスペース）
- ロ 子どもと美術の関わり方の視点による表現・鑑賞及び所蔵作品等に関する考察、研究
- ハ 自由に参加できる対話型、参加型、体験型、体感型のアクティビティ